

# 福島区のゲリラ豪雨対策 に向けた取り組み

大阪市福島区長 坂本 幸三

# 大阪大学とのコラボレーションに至る経過

## ○大阪府在籍中

- ・ 五年前、神戸都賀川の事故が発生
- ・ 大阪府においても河川の警報装置設置の検討に入り、枚方土木事務所在籍中、一級河川天野川の交野市スポーツ文化センター近傍に警報装置設置
- ・ 同時に、集中豪雨時の道路のアンダーパス部への車の進入禁止対策も検討

## ○大阪市福島区長(昨年8月～)に就任後

- ・ 昨年8月18日の午後、集中豪雨が襲来、福島区内で床上浸水2戸、床下浸水21戸、長居公園では落雷により2名死亡
- ・ 昨年8月31日付けの新聞で、牛尾先生が新型気象レーダーを開発されたことを知り、是非コラボレーションを！
- ・ 今年8月25日にも未明から大阪市内に集中豪雨、福島区内で床下浸水8戸、3件の道路冠水

# 福島区役所がデータを閲覧するに至るまでの課題

レーダーの中心を福島区に！

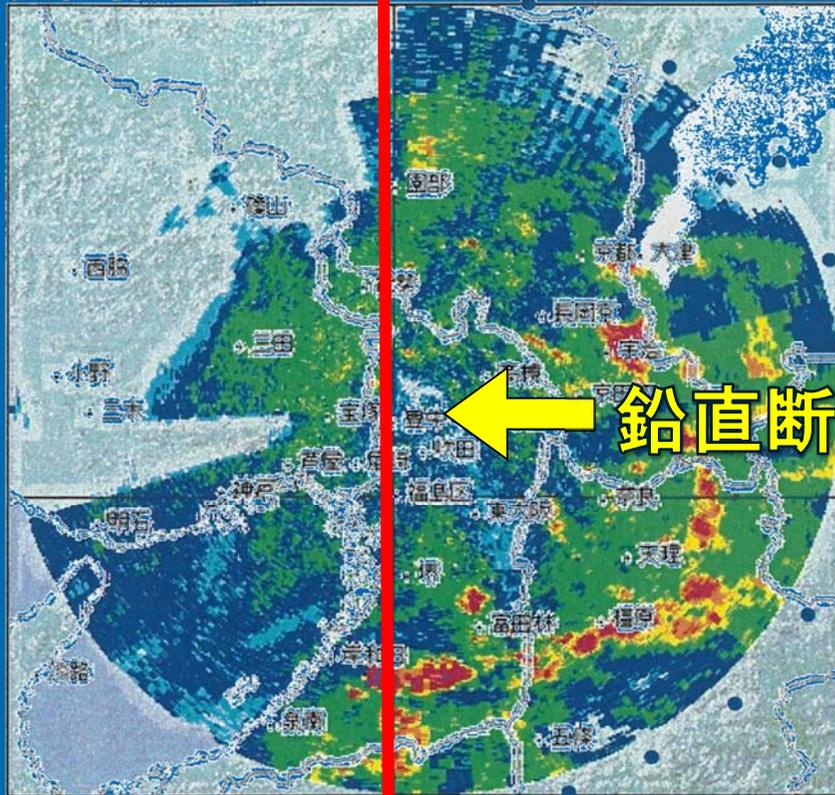
大阪市役所で初めての取り組み  
極めて低廉な価格での実施

(大阪市役所内関係部局との調整)

- ① 事業予算が予め確保されていない中での実施
- ② 建設局がすでに運用しているオークレーダーがある中、なぜ福島区役所に新たなレーダー情報が必要なのか
- ③ 福島区役所負担分の経費がなぜそんなに低廉なのか
- ④ 契約の相手方が大阪大学ではなく、なぜNPO法人なのか

# 福島区役所での閲覧画像

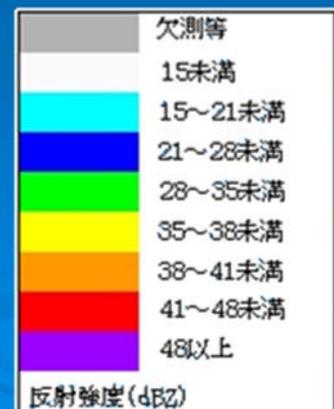
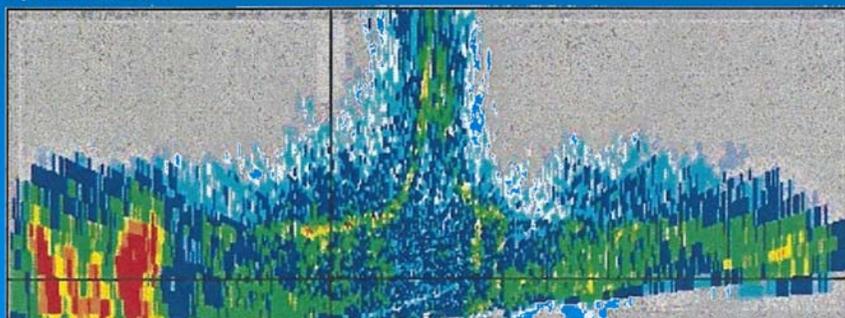
福島区役所上空



鉛直断面図の閲覧方向



鉛直断面図



# 区民への伝達方法



- 防犯パトロール車でのアナウンス
- 区役所からのツイッター
- 防災スピーカーによる呼びかけ

# 新型防災スピーカーの導入

既設置の防災スピーカー



聞こえない、聞こえにくいエリアが  
福島区全体の約7割を占める

新型防災スピーカー



区役所から半径500m強のエリアは  
聞こえるようになった

# 今後の課題と方向性

---

## 【課題】

- ・履歴情報の保有に向けての整備
- ・ゲリラ豪雨発生直前における情報の入手方法
- ・気象業務法による天気予報業務の制限  
→ 地域住民への情報伝達方法・手段の工夫

## 【今後の方向性】

- ・大阪市24区全体へ展開
- ・最終はweather関連企業へ